

博物館のお宝資料

郵政博物館は初期の通信に関する重要文化財を所蔵しています。これらは「文化」ノ世界にて、期間を決めて展示しています。

エレキテル

エレキテルとは摩擦によって電気を起こす機械のことです。

郵政博物館所蔵のエレキテルは平賀源内が安永5(1776)年から同8(1779)年の間に作ったものとされています。

【平成9(1997)年6月に重要文化財に指定】



エンボッシング・モールス電信機

エンボッシング・モールス電信機は、嘉永7(1854)年に日米和親条約を結ぶために来日したペリーが持参、アメリカから江戸幕府に贈呈された品々の中の1つです。

アメリカの発明家モールスが電気の断続によって文字の代わりをするモールス符号を送受する電信機を発明し、1844年に電信がワシントン-ボルティモア間に開通しました。

日本にはその10年後にもたらされました。

【平成9(1997)年6月に重要文化財に指定】



ブレゲ指字電信機

明治2(1869)年12月25日、東京と横浜に設置された電信局で日本最初の電信事業が開始されました。この時使われたのがブレゲ指字電信機です。

円盤の文字を指示して通信を行う方式なので熟練した技術が必要としない、簡単に扱えるものでした。

【平成14(2002)年6月に重要文化財に指定】



郵政博物館
POSTAL MUSEUM JAPAN

郵政博物館 展示資料ガイド

2014.10 発行

赤い丸型ポスト

常設展示場には赤い丸型ポストが何本も立っています。これは入口から奥へ年代順に並んでいます。



俵谷式ポスト
明治34(1901)年

火事に強い鉄製の赤色の丸型ポストが考案されると「赤くて丸い」ポストの時代が始まりました。ポストを「赤色」に塗ったのはポストの位置をわかりやすくするため、角を丸くして通行の邪魔にならないようにしました。俵谷式は俵谷高七氏が考案したポストで、試験的に設置されました。
※博物館入口にレプリカがあります。



中村式ポスト
明治34(1901)年

中村幸治氏の考案によるポストで、俵谷式に続いて試験的に設置されました。差入口に雨蓋がついています。
※「郵便」ノ世界、昔の郵便局窓口の向かい側にレプリカがあります。



回転式ポスト
明治41(1908)年

赤い丸型ポストとして正式に制定されたポストです。差入口が回転式になっています。
※GO!GO!ポストマンの向かい側にあります。

その他、丸形底付ポストや戦時中の代用として作られたストニー製のポストなどが展示してあります。

また、日本最初のポスト「書状集箱」やトイレと間違われたという逸話のある「黒塗柱箱」もあります。

日本の近代郵便の父 まえしまひそか 前島密



前島密（1835～1919）は幕末に生き、明治時代の新しい政府作りに加わって、数多くの業績を残しています。中でも郵便事業を形成した功績は大きく、明治3（1870）年に「郵便創業」に関する案を考えました。これを基に明治4（1871）年に郵便の取扱いが開始されました。以後、郵政の長官として郵政事業の基礎を築きました。

前島密は「日本郵便の父」と呼ばれています。

切手

世界各国の切手約33万種を展示しています。これだけの数の切手を一度に見られるのは日本でもここだけです。

日本最初の竜文切手（明治4年発行）はもちろん、世界で最初に発行されたイギリスの切手、ブラックペニー（1840年発行）も展示しています。



←日本最初の切手
竜文切手

世界最初の切手→
ブラックペニー



自動郵便切手葉書売下機



日本に現存する最も古い自動販売機といわれています。

明治37（1904）年、山口県の発明家、俵谷高七が完成させましたが、装置作動の正確さにやや難点があり、実際には使用されませんでした。

国産の切手の自動販売機は昭和13（1938）年に実用化されました。

郵便貯金のマスコット



リスのユウちゃんは昭和38（1963）年が、郵便貯金が誕生して88年目にあたるのを記念して誕生、翌年愛称が決まりました。

リスは表情やしぐさが愛らしく、木の実をいろいろな場所に運び、植物の子孫を森全体に広げ、森を豊かに大きくしていくという役割をはたしており、そこから「蓄える」「繁栄していく」というイメージに繋がって選ばれました。

平成2（1990）年にユウちゃんはリメイクされ、公募により女の子のアイちゃんが誕生しましたが、平成19（2007）年の郵政民営化に伴いユウちゃんアイちゃん共々姿を消しました。

簡易保険とラジオ体操

ラジオ体操は昭和3（1928）年、天皇陛下即位の大礼を記念して企画され、文部省と日本放送協会の協力を得て「国民保健体操」として考案、国民の健康保持増進を目的として実施されたのがはじまりです。

国民保健体操を企画した簡易保険局は、図解印刷物、映画、レコード、講習会などで体操の普及に努めました。更に毎朝定時のNHKのラジオ全国ネット放送の実施によって、国民的体操として普及、定着しました。

